

# スマート農業の実現、強い農業の礎を築く。

- 担い手の確保・育成や耕作放棄地の発生防止・解消に向け、効率的な利用が可能な農地、安定的な農業用水の供給、水管理の省力化など、良好な営農条件の整備が不可欠です。
- 生産コストの削減と収益力の強化のため、自動走行農機、ICT水管理などのスマート農業の実装を可能とする水田の大区画化、水田の汎用化、畑地かんがいなどの基盤整備を推進しています。



## 全国

- 大区画水田の割合 10.6% (50a以上区画)
- 排水良好ではない水田 49万ha (30a程度以上区画のうち)
- 畑地かんがい整備済の割合 24.2%

「農業農村振興整備部会  
令和元年度第4回 資料3」より



# インフラを保全・管理し、災害から農業・農村を守る。

○ 頻発化・激甚化する災害に対応し、農業・農村を強靱化するため、老朽化した農業水利施設の改修・耐震対策、排水施設の整備、既存ダムの洪水調節機能強化、田んぼダムなどによる流域治水を推進しています。



頭首工の耐震化(堰柱の拡幅)



洪水から農村地域を守る調整池や排水路



農業用ダムからの事前放流